



5月24日に待望の復活!! アサリまつり  
(平成18年4月29日に開催された様子)

て決定しているが、却下の理由としては、土地などの財産があるため当面生活できると判断したものの、若い人たちについては、仕事をしよう指導したケースもあると思う。

## 旧山田病院活用し 内科を開業しては

**問** 旧山田病院を活用して、内科医が開業できるようにしては。

**保健福祉課** 医師確保については、町民にとって最も

関心がある問題だと思っております。ありとあらゆるものを町として検討したい。

## 社協事務移管分 町でできないか

**問** 社会福祉協議会へ事務移管している分を町で行えないか。

**保健福祉課** 町から移管しているものは、社会福祉関連6団体の事務である。地域福祉・社会福祉活動などよりスムーズに行えらると考

**問** 社協を役場だと思ってる町民も多いのでは。

また、さまざまな会費も任意ではないと思ってる別の組織であることを説明するべきでは。

**保健福祉課** 誤解のある部分は町民に周知していく。会費は任意であるが、社会福祉事業を展開するためには必要であることも理解してほしい。

## 市町村総合補助金で 実施する内容は

**問** 市町村総合補助金で実施する事業の内容は。

**産業振興課** 山田の魅力発信実行委員会が実施する事業である。カキまつり、オランダ島まつり、秋まつり、うんめーごっつおー発信事業、観光ガイドブック制作事業の5本である。

## アサリまつりの 事業の内容は

**問** 本年度復活するアサリまつりの事業の内容は。

**産業振興課** 5月24日の1日のみの開催である。場所は織笠川河口、募集人数は3000人で、はがきによ

る予約制としたい。

## 前須賀タブの木荘線 歩道設置早めるか

**問** 町道長林大浦線が計画より早く完成すれば、前須賀タブの木荘線の歩道設置を早めると聞いていたが。

**地域整備課** 国の補助がなければ実施は難しいことから、計画どおり平成22〜24年度で実施したい。

## 消防団の区割り 行政区と同じに

**問** 消防分団の区割りが行政区と異なるが、同じにすべきでは。

**町長** 分団同士で話し合うことがベストであるが、町としても検討したい。

## 学校教育相談員 配置先はどこか

**問** 学校教育相談員が増えるが、どこに配置するか。

**教育委員会** 特別教育支援員が1人から3人になる。発達障がいや不登校など、支援の必要な子供がいる学校で、特別支援学級がない学校に派遣したい。

## 賛成討論

■ 豊間根 信議員

町民税・固定資産税・町たばこ税など大幅な減収が見込まれ、町民の収入も減少し生活が苦しくなっている現状を認識し100年に一度といわれる未曾有の経済危機に対し、柔軟な姿勢をもって前向きに取り組む姿が見える。財政健全化策も重要であるが10年後のビジョンを示し町民が夢をもてる投資的経費の投入も重要である。今こそ町長マニフェストのとおりトップセールスとして医師対策、産業活性化、雇用問題などに汗を流すことを期待する。

■ 稲川 勝憲 議員

継続事業の土地区画整理事業や山田処理区の公共下水道のほか、仮称「山田町商工業懇話会」の立ち上げなど新規事業が数多く予定されている。

特に学校給食のランチボックス方式導入の公約から、財政計画との整合性を前提に、平成25年度の完全給食の実施にむけて大きく方向性を転換した。大変重い決断をした町長に敬意を表する。

町長以下職員創意と工夫、努力をお願いし賛成討論とする。